

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2020年10月30日



第2四半期（累計） 決算ハイライト

売上高115億減収、営業損失26億を計上

(単位：百万円)

売上高

35,835

前年増減額

△11,587

EBITDA

△**1,025**

前年増減額

△2,951

営業利益/損失

△**2,628**

前年増減額

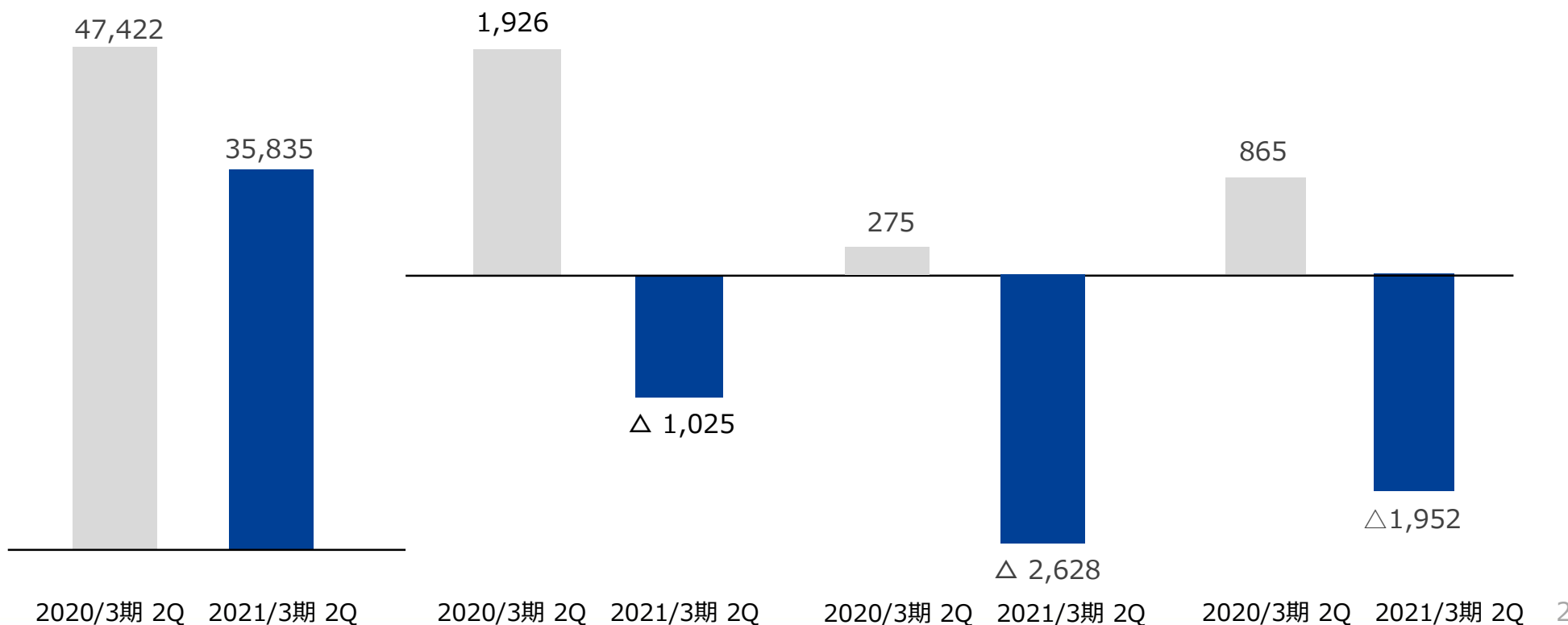
△2,903

親会社株主に帰属
する当期純利益/損失

△**1,952**

前年増減額

△2,817



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

第2四半期は第1四半期と比べ売上、利益が改善

(単位：百万円)	第1四半期	第2四半期（3ヶ月）		第2四半期累計
	実績	実績	前四半期増減率 前四半期増減額	実績
売上高	16,855	18,980	12.6%	35,835
営業損失	△1,868	△760	1,108	△2,628
経常損失	△1,942	△986	956	△2,928
親会社株主に帰属する当期純損失	△1,213	△739	474	△1,952
EBITDA（参考）	△1,063	37	1,101	△1,025

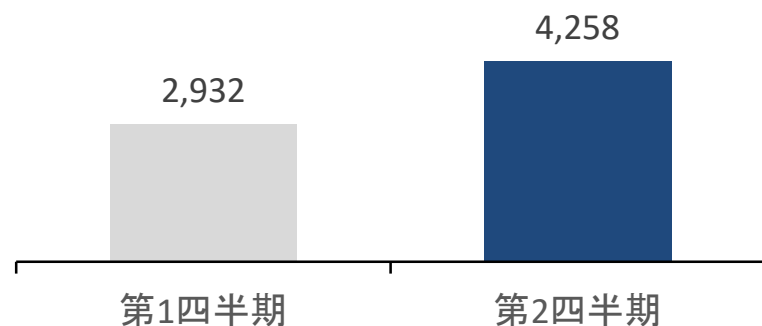
映像システム事業は黒字を確保

(単位：百万円)		2020年3月期 第2四半期	2021年3月期第2四半期		
		実績	実績	前年増減額	前年増減率
映像コンテンツ事業	売上高	15,454	7,190	△ 8,263	△53.5%
	営業損失	△ 26	△ 712	△ 685	—
	(営業利益率)	—	—		
映像制作サービス事業	売上高	23,743	20,719	△ 3,024	△12.7%
	営業損失	△ 751	△ 2,224	△ 1,473	—
	(営業利益率)	—	—		
映像システム事業	売上高	8,955	8,495	△ 459	△5.1%
	営業利益	1,250	558	△ 691	△55.3%
	(営業利益率)	14.0%	6.6%		
その他	売上高	△ 730	△ 569	160	—
	営業損失	△ 197	△ 250	△ 53	—
連結合計	売上高	47,422	35,835	△ 11,587	△24.4%
	営業利益/損失	275	△ 2,628	△ 2,903	—

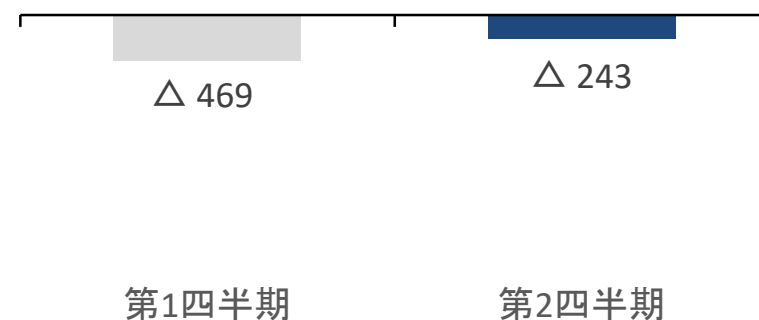
第1四半期をボトムとし第2四半期は売上、営業利益が改善

(単位：百万円)

売上高



営業利益

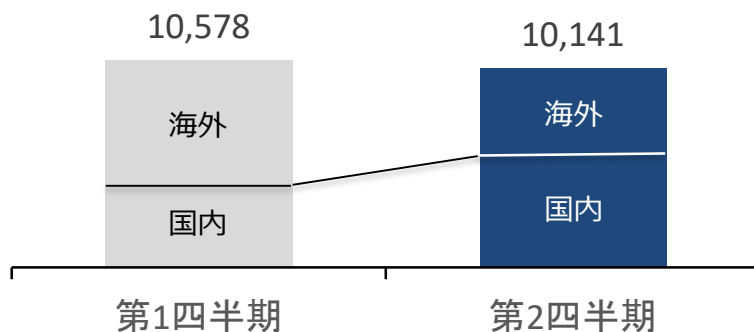


- ✓ 第2四半期末に公開された劇場映画作品（実写）があるも、その他の映画作品は第3四半期以降に延期
- ✓ TVCMの撮影業務は再開
- ✓ 音楽ライブ等の収録は依然として中止や延期が発生
- ✓ TVアニメはシリーズの制作本数減少、TV放送スケジュール変更が発生

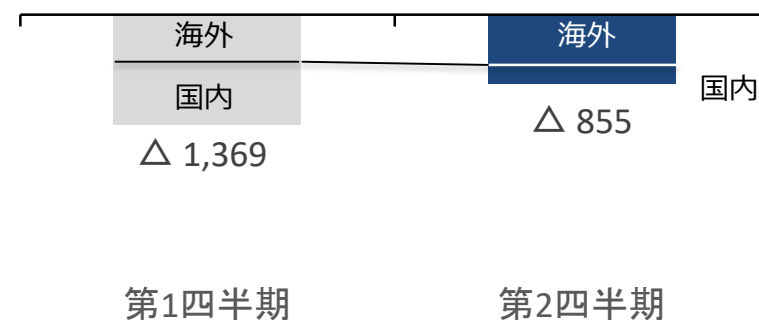
国内は回復傾向だが、海外ローカライズは苦戦

(単位：百万円)

売上高



営業利益



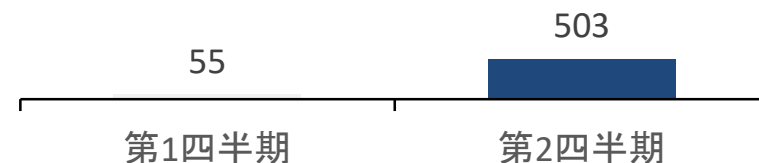
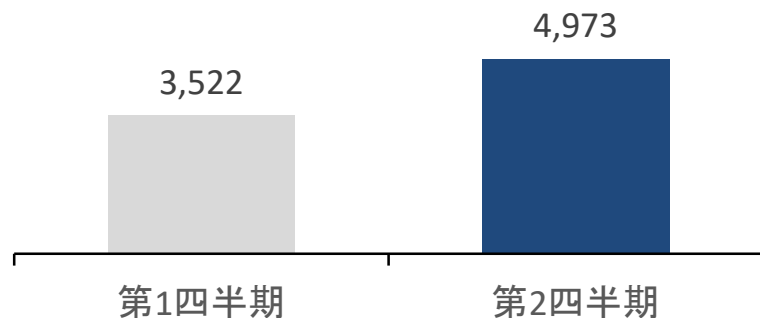
- ✓ 国内の映像技術サービスは、TV番組・TVCM向けポストプロやデジタルシネマサービス、撮影配信、アーカイブサービスの受注が回復傾向
- ✓ 海外の映像技術サービス（ローカライズ）は、欧州や北米各国のロックダウン（都市封鎖）に伴い、受注が減少
- ✓ 人材サービス分野は、人材派遣・紹介事業で苦戦するも、ゲーム3DCG制作事業にて制作環境のリモート化により前年並みの受注を確保

CMオンライン送稿好調、アジア地域での販売は回復基調

(単位：百万円)

売上高

営業利益



- ✓ CMオンライン送稿は好調に推移し、売上が前年並みまで回復
- ✓ 放送局向け案件の売上計上は第3四半期以降に延期
- ✓ ハイスピードカメラは国内や欧米で苦戦が続くも、アジア地域では回復基調
- ✓ 台湾・中国向け映像・画像処理LSIの販売も順調に推移

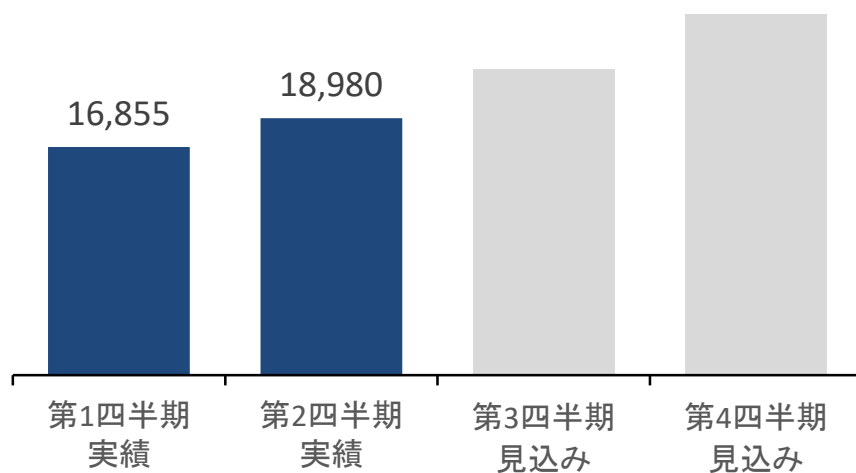
第3四半期以降に改善を見込む

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期				
	実績	第2四半期 累計実績	前年 増減額	通期予想	前年 増減額	前年 増減率
売上高	94,090	35,835	△11,587	84,000	△10,090	△10.7%
営業利益	1,351	△2,628	△2,903	△2,200	△3,551	—
(営業利益率)	(1.0%)	(-)	-	(-)	-	-
経常利益	416	△2,928	△2,736	△2,650	△3,066	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失	664	△1,952	△2,817	△1,150	△1,814	—
1株当たり当期純利益又は純損失 (円)	15.05	△44.05	△63.69	△25.91	△40.96	—
EBITDA (参考)	4,706	△1,025	△2,952	1,255	△3,451	△73.3%

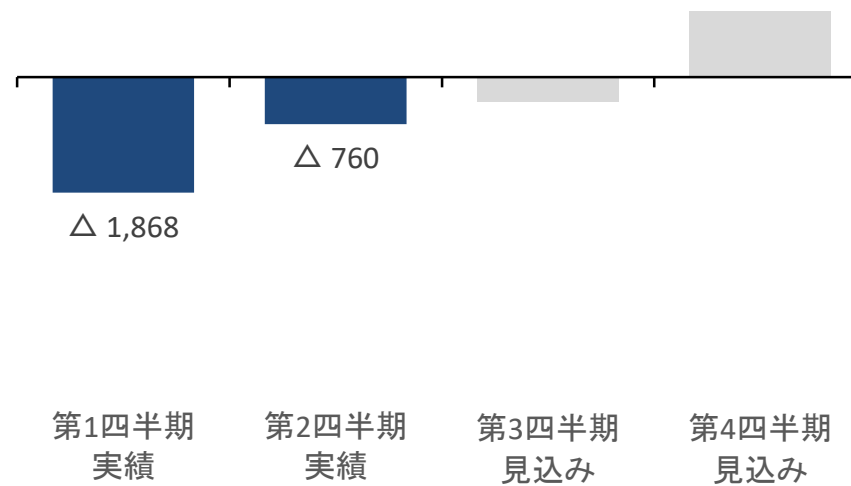
第4四半期は売上、営業利益とも前年水準まで改善見込み

(単位：百万円)

売上高



営業利益



第3四半期以降、事業環境の改善が進むと想定

セグメント	傾向 (上期対比)	コメント
映像コンテンツ事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> (○) 第3四半期以降に劇場映画作品の公開が予定 (○) TVCM撮影業務は再開が進む (△) 音楽ライブは大型案件開催がまだ不透明だが、無観客でのオンライン配信化が進む
映像制作サービス事業	国内：改善 海外：やや改善	<ul style="list-style-type: none"> (○) デジタルシネマは劇場再開に伴い回復基調 (○) Jリーグは2Qから再開、その他スポーツ等も再開傾向 (△) 海外の映像技術サービス（ローカライズ）は欧米各国での感染拡大により苦戦。アジアは回復傾向
映像システム事業	改善	<ul style="list-style-type: none"> (○) 放送局向けは第4四半期に受注見込み、保守サービス増加 (○) リモートでの制作環境の中でオンライン送稿の需要が増加 (△) ハイスピードカメラはアジア好調だが、欧米がまだ不透明

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

	親会社に帰属する 当期純損失	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2021年3月期予想	△1,150百万円	△25.91円	0円	-%

当期の親会社株主に帰属する当期純利益が損失を計上する見通しであることから、連結業績に応じた利益配分という基本方針に基づき、未定としておりました当期の期末配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Appendix.

連結損益計算書

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期累計	2021年3月期 第2四半期累計		
	実績	実績	前年増減額	前年増減率
売上高	47,422	35,835	△ 11,587	△24.4%
売上総利益 (売上総利益率)	11,357 23.9%	7,621 21.3%	△ 3,736	△32.9%
営業利益/損失 (営業利益率)	275 0.6%	△ 2,628 —	△ 2,903	—
経常損失 (経常利益率)	△ 192 —	△ 2,928 —	△ 2,736	—
特別利益	1,658	123	△ 1,534	△92.6%
特別損失	30	118	88	287.2%
税金等調整前当期純利益/損失	1,435	△ 2,924	△ 4,359	—
親会社株主に帰属する当期純利益/損失	865	△ 1,952	△ 2,817	—
EBITDA (参考)	1,926	△ 1,025	△ 2,951	—

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2020年3月期末	2021年3月期 第2四半期末	前期比	主な増減要因
資産の部	流動資産	35,295	30,661	△ 4,634	現金預金 △1,468 受取手形及び売掛金 △4,947
	うち現金預金	7,339	5,871	△ 1,468	たな卸資産 +1,082 その他 +699
	固定資産	26,859	26,296	△ 563	投資有価証券 +320 関係会社株式 △253
	うちのれん	3,167	2,864	△ 303	繰延税金資産 +322
資産合計		62,154	56,957	△ 5,197	
負債・純資産の部	流動負債	25,762	26,356	594	支払手形及び買掛金 △1,819 短期借入金 +2,051
	うち短期借入金	5,004	7,055	2,051	未払法人税等 △1,228 前受金 +2,206
	固定負債	8,913	8,574	△ 339	
	うち長期借入金	5,510	5,047	△ 463	長期借入金 △463
	負債合計	34,676	34,931	255	
	株主資本	25,428	21,063	△ 4,364	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額	△ 361	△ 234	126	2020年3月期末 25,066 (40.3%)
	新株予約権	11	11	—	2021年3月期2Q 20,828 (36.6%)
	非支配株主持分	2,400	1,186	△ 1,214	
	純資産合計	27,478	22,026	△ 5,452	
負債純資産合計	62,154	56,957	△ 5,197		
ネット資金		△ 3,175	△ 6,232	△ 3,056	(現金預金 - 長短期借入金)

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
税金等調整前当期純利益	1,435	△ 2,924
減価償却費	1,359	1,308
のれん償却費	291	293
売上債権の増減額	4,056	4,871
たな卸資産の増減額	825	△ 1,098
仕入債務の増減額	△ 1,154	△ 1,755
前受金の増減額	△ 2,684	2,217
未払又は未収消費税等の増減額	828	△ 835
法人税等の支払額	△ 860	△ 1,466
その他	△ 1,232	△ 711
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,865	△ 98
短期貸付けによる支出	△ 1,650	—
短期貸付金の回収による収入	555	—
有形固定資産の取得による支出	△ 390	△ 606
有形固定資産の売却による収入	2,673	1
関係会社株式の取得による支出	△ 3,000	△ 100
その他	△ 728	△ 530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,541	△ 1,235
短期借入金の純増減額	601	2,677
長期借入金の返済による支出	△ 1,240	△ 1,230
長期借入れによる収入	—	434
配当金の支払額	△ 220	△ 221
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△ 1,500
その他	△ 158	△ 240
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,018	△ 79
現金および現金同等物の増減額（△は減少）	△ 800	△ 1,468
現金および現金同等物の期末残高	5,266	5,859

2020年7月～ 主なグループTOPICS

2020/7/3
IMAGICA GROUP

新しいエンタテインメント体験を実現する事業会社、株式会社IMAGICA EEX（イマジカイクス）を設立！



2020/7/7
IMAGICA EEX

リアル恐竜ライブショーをニューノーマル時代に対応した新しいエンタテインメント体験を提供



2020/7/7
IMAGICA Lab.

オンライン試写サービス Framboise (フランボワーズ) を開発
映画宣伝用マスコミ試写向けにサービスを開始



2020/7/10
アイチップス・テクノロジー

2画面 4K2K入力対応IP変換・解像度変換・画像歪補正(Warping) LSI 『IP00C814』を開発、サンプル出荷を開始（プロジェクター、モニター、ビデオプロセッサ向け）



2020/8/7
IMAGICA GROUP

Pixelogic Holdings, LLC の追加株式取得（連結子会社化）



2020/9/6
IMAGICA EEX/フォトロン

オンライン配信ファッションショーをXR映像で演出
アリーナ規模では日本初！248万人が視聴



2020/9/17
IMAGICA EEX/IMAGICA Lab.

観客参加型・360度を囲う巨大LEDビジョンによる、オンラインライブ配信ならではのプレミアムなステージ体験を提供



2020/10/1
主婦の友インフォス

女性ファッション誌『S Cawaii!』（エスカワイイ）を株式会社主婦の友社より事業譲渡



2020年4月～ 主なグループTOPICS

2020/4/1
IMAGICA GROUP

IMAGICA GROUPが「NTTドコモ新体感ライブCONNECTスペシャルイベント」高臨場感ライブビューイングに参画



2020/5/11
ウェザーマップ

ウェザーマップ、赤城乳業株式会社と、氷菓「ガリガリ君」のお天気サイト「ガリ天 2020」をオープン



2020/5/29
IMAGICA Lab.

IMAGICA Lab.が 第24回JPPA AWARDS 2020 映像技術部門グランプリほか各賞を受賞



2020/6/1
イマジカデジタルスケープ

イマジカデジタルスケープが株式会社湘南ハイテク企画の株式取得（当社の孫会社化）、IT分野での更なる強化と事業拡大を目指す



2020/6/10
アイチップス・テクノロジー

アイチップス・テクノロジー、【4K60Hz対応】4K 画像歪補正(Warping)/エッジブレンディングLSI『IP00C382』を開発、サンプル出荷を開始



2020/4～6
フォトロン

フォトロン、ハイエンド・コンパクト高速カメラ『FASTCAM Nova S16』新発売



超高解像度・コンパクト高速カメラ『FASTCAM Nova R2』新発売



2020/4～6
ROBOT

ROBOTが外出自粛応援ムービーを製作。第1弾「きょうのできごと a day in the home」、第2弾「いまだっいたら言える気がする」4/24から6/4までyoutubeで無料配信を実施。現在はHuluにて配信中！



2020/7/1
イマジカデジタルスケープ

大阪に新拠点開設 3DCG制作人材の育成と事業拡大を目指す



映像コンテンツ事業	映像制作サービス事業	映像システム事業
ロボット	IMAGICA Lab.	フォトロン
ピクス	イマジカ・ライヴ	フォトロン M&E ソリューションズ
オー・エル・エム	コスモ・スペース	PHOTRON USA
オー・エル・エム・デジタル	IMAGICA SDI Studio	PHOTRON EUROPE
オー・エル・エム ベンチャーズ	SDI Media Group	アイチップス・テクノロジー
Sprite Animation Studios	PPC Creative Limited イマジカデジタルスケープ イマジカアロベイス 湘南ハイテク企画 ウェザーマップ キャスター・プロ ※4Q~ Pixelogic Holdings,LLC追加	IPモーシオン

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742 F A X : 03-6741-5752

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。